

有限会社金田建築

■事業

建築部材の製造リードタイム短縮による
神社仏閣工事の工期短縮化

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

縦軸付自動かな盤 形式:ADR-651CP

経営理念

誠意ある仕事で信頼を形に

祖先は松江城や出雲大社の工事にも参画 宮大工を抱える比類なき技術者集団

系譜をたどると、松江城の修復元や出雲大社の拝殿新築にも携わってきた有限会社金田建築。初代は広島・厳島神社の社務所新築や、大阪・住吉大社の楼門新築を手掛けるなど、社寺の建築や修理に力を発揮してきた。「木組み」の技術を習得している宮大工を抱え、一般の木造住宅はもちろん、文化財建造物の修理や古民家再生などの需要も高く、かけがえのない技術者集団として、高く評価されている。

釘や金物などで補強できる現代の一般的な工法とは異なり、木と木を組み合わせる伝統工法は、木の性質や木目の流れを生かして、柱や部分的なパーツをつなぎ合わせていく。建物だけではなく、宮大工は、鉋(かな)やノミなど昔ながらの道具を使って、美しい曲線を描き、デザイン性の高い彫刻を作り上げる高い技術も持っている。

しかし、価値観の多様化や人口減少をはじめ、社寺の新築修繕も減るなど、高い専門性が求められる宮大工は減少。新建材の充実化や低コスト化、短納期が進み、木造住宅自体も減ってきている。金田真平社長は、「和室に床の間がないどころか、片流れの屋根が増え、棟すらない家も。建物が簡易化し、職人の数も技術も失われつつあります」とため息をつく。

業界最大級の自動かな盤を導入し、 材料加工のスピードと精度、歩留まりが向上

ただ、文化財住宅や社寺の修繕需要は少なくない。神社仏閣には幅広く厚みのある木材が用いられることが多いが、従来の自動鉋盤では、最大幅500ミリの木材しか加工できず、超えるものは手作業でやらざるを得なかった。また1面ずつしか削れないため、手間がかかり、ロスが出ることも悩みの種だった。

そこで2面同時に削れ、最大幅650ミリまで対応可能な縦軸付自動かな盤を導入。業界最大級の大型建築部材加工が可能になり、板材の歩留まりは10%からゼロに減少、1棟あたりの木材加工に費やす平均時間は大幅に減少になった。導入と同時に、重要文化財の材料加工を担い、スムーズかつ精緻な仕上がりで高い評価を受けた。また、寺院の8メートルにも及ぶ隅(すみ)木の入れ替え作業にも重宝し



金田真平 代表取締役



1 縦軸付自動かな盤の導入で大型建築部材の加工も可能に
2 神社仏閣工事には定評がある
3 受け継がれている宮大工の高い技術



た。「建築部材の製造リードタイムが短縮し、文化財や神社仏閣の保存・修復工事の受注拡大への体制が整いました」と金田社長。

培った伝統技術を生かし 中四国地方などからの受注も狙う

石見地方には、社寺建築に対応できる会社が大田市に多く、祖式町だけで3社もあるという。金田社長は、「地域全体として実績を重ねていくことができれば」と語る。また近年、伝統的な家造りの良さが再認識され、古民家再生の需要も増えてきている。同社は、1級建築士、2級建築士のほか、1級大工技能士や文化財建造物木工技能者も抱える。1級古民家鑑定士の資格も持つ金田真平社長と慶三会長は「培ってきた伝統技術と、新設備を活用し、県内だけでなく中四国地方などからの受注も担っていきたい。同時に木で造る建物の魅力も伝えていければ」と意欲をみせる。

■Company Data

有限会社金田建築



会社外観

代表者名: 金田真平
設立年: 1975年(昭和50年)
資本金: 7,500千円
従業員数: 12名
主たる業種: 総合工事業
本社: 〒694-0431 大田市祖式町 563-2
電話: 0854-85-2314
FAX: 0854-85-2314
URL: <http://www.kanetakenchiku.com/>

大型建築部材加工が可能
設備の導入で
神社仏閣の保存・修繕工事の工期が短縮
伝統技術を生かして受注拡大を狙う